



第1学年 国語科 学習構想案

菊池市立旭志中学校 植嶋 祐二郎

1 単元構想

| 単元名 | 考えをまとめる p 112～117 『中心を明確にして話そう』 東京書籍 ～地域の良いところや自慢できるところについてスピーチしよう～ | | |
|---|--|---|---|
| 単元の目標 | (1) 声の大きさや速度、音声の働きや仕組みについて理解を深めることができる。 〔知識及び技能〕 (1) ア (2) 自分の考えや根拠を明確になるように話の構成を考え、相手の反応を踏まえながら自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫してスピーチすることができる。 〔思考力、判断力、表現〕 A (1) イ、ウ (3) 言葉が持つ良さを認識するとともに、進んでスピーチしてアドバイスや助言の大切さを自覚し、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」 | | |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | ① 声の大きさや話す速さ、間の取り方などに注意して話すとともに、聞き手の様子に応じて繰り返し述べたり言い換えたりしている。 | ① 話し方や話す内容について構成の工夫を行い、話の中心を明確にしている。(A (1) イ) ② スピーチをしながら相手の反応を踏まえ、自分の考えがきちんと分かりやすく伝わるよう表現を工夫している。(A (1) ウ) | ① 進んで地域の良いところや自慢できるところを調べ、スピーチすることに関心を持ち、授業に意欲的に取り組もうとしている。また、助言を自分のスピーチに生かそうとしている。 |
| 単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿） | | | |
| 住み慣れた地域の自慢できるところや良いところを探し、順序立てて話を組み立て構成を工夫し、声の大きさや話すスピードなどに気を付けて、聞き取りやすく分かりやすいスピーチができる生徒。 | | | |
| 単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題） | | 本単元で働かせる見方・考え方 | |
| 地域の良いところや自慢できるところをスピーチする中で、相手に対して伝えたいことが明確となり、分かりやすいスピーチにするためには何が必要か考えよう。 | | これまで学習してきたことを踏まえ、菊池の良いところや自慢できるところなど、身近にある材料からスピーチを行う活動を設定した。その際、声の大きさや話す速さ、構成の工夫、間の取り方といった相手に応じた話し方を工夫し、言葉への自覚を高める。 | |
| 指導計画と評価計画（7時間取扱い 本時6/7） | | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動（「問い」を設定しても可） | 評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」 |
| 一 | 1 | ○教科書冒頭p 112の目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 ○手順①の「話題を決める」を読み、スピーチで取り上げる内容を決める。 | 【態①】（ノート） 【思①】（ノート） |
| 二 | 5 | ○教科書p 115の「言葉の力 話の中心を明確にして、構成を考える」の4つの項目を読んで、各自で本やインターネットや資料を使い調べて、考えをまとめる。また、1人1枚パワーポイントを作成させる。 ○グループの中でスピーチを順番に行う。発表した時に、助言やアドバイスをもらいスピーチの内容をもう一度見直す。 宿題でタブレットにスピーチを録画する。 <u>○グループの代表が皆の前でスピーチし、地域の大人の方々の助言やアドバイスをもらい、考えを深める。（本時）</u> 自分の動画をタブレットで確認する。もう一度録画したい生徒は学校や家で録画する。 | ★【知①】 ○語句や発音、抑揚や緩急などの音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ○順序立ててスピーチの構成を考えている。 ○パワーポイントを作成し、スピーチの材料とする。 ★【思①】 ○友達のスピーチに対して、うなずきや聞き返しをしながら話の内容を捉えている。 ★【思②】 ○スピーチの後アドバイスをもらい、進んで自分の考えを分かりやすく伝えるための具体例やその順序を見直している。 ○学習の見通しを持って、改めてスピーチの内容の構成を考えている。 |
| 三 | 1 | ○単元を通し、学習を振り返って学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ★【態①】ワークシート ○今後の社会生活の中で自分の考えを分かりやすく伝えるため、見通しを持って進んで話の構成を考えようとしている。 |

2 単元における系統及び児童の実態

| 学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等) | | | | |
|---|------|------|-----|----|
| 中学校学習指導要領第1学年 [知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ア [思考力, 判断力, 表現力] 「A 話すこと・聞くこと」 イ、ウ | | | | |
| 教材の価値 | | | | |
| 本教材は、これまでの学習を踏まえ、話の中心を明確にスピーチする学習でタブレットを使用した調べ学習を通し、事実と考えとの関係に注意しながら構成を考えて話すことを学習する。音声表現は即時的なものであり、聞き手は話を遡って内容を確認することができない。そのため、文章表現よりも、事柄の順序や説明の仕方、表情等が重要となる。一方、音声表現ならではの伝わりやすさもある。聞き手の反応を見ながら、声の大きさや話す速さ、間の取り方を工夫したり、言い換えたり繰り返したりすることで、分かりやすく伝えることができる。 また、実際の社会生活の中でも同様の検討をすることで、正しい敬語表現など相手を意識したスピーチとなるよう活動することが考えられるため、他者とのコミュニケーション能力を伸ばすことに適した教材である。 | | | | |
| 本単元における系統 | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 小6年 問題を解決するために話し合おう 自分の意見を明確に伝え、相手の発言の意図を考えながら話し合う。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> 中1年 話を聞いて質問しよう メモを取ったり質問したりしながら、話の内容を捉え、考えをまとめる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;"> 中1年 中心を明確にして話そう 「私のタンポポ研究」では、必要な情報を取り出して要約する活動を行い、「根拠を挙げて考えを述べる」では、自分の考えを述べるときには根拠を挙げる必要があることを理解する。本単元では、話の中心を明確にして構成を考え、説得力のある分かりやすい話し方を工夫する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> 中1年 話し合いで理解を深めよう 話し合いの展開に注意し、お互いの発言を結び付けて考えをまとめる。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 80%; text-align: center;"> 中2年 説得力のある提案をしよう 聞き手に納得してもらえるように、説得力のある話の構成を考える。 </div> | | | | |
| 生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態) | | | | |
| ■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 | | | | |
| 項目 | 定着状況 | | | |
| 話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。 | 70% | | | |
| 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 | 90% | | | |
| 相手の発言の意図を考えながら自分の意見を明確に伝えている。 | 45% | | | |
| 自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。 | 55% | | | |
| ■本単元の学習に関する意識の状況(人) | | | | |
| 調査内容 | よく | まあまあ | あまり | ない |
| 国語の授業でスピーチの力を付けることが、今後必要だと思いますか。 | 27 | 9 | 2 | 0 |
| 本やインターネットを使い、調べものをするのが好きですか。 | 20 | 12 | 3 | 3 |
| 自分の考えを話すのが好きですか。 | 3 | 13 | 21 | 1 |
| 国語の授業は楽しいですか。 | 19 | 18 | 1 | 0 |
| ■考察 令和5年菊池市学力・学習状況調査では、1年生の国語はすべての項目について全国正答率を下回っていた。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字の読み書きや文法に関する事項。「話すこと聞くこと」では、インタビューの内容を聞き取る問題に関する正答率が全国より13.4%も低くなっていた。生徒に対する事前アンケートでは、授業に対する姿勢は良いが、話したり聞いたりすることに対する意欲は低く苦手意識が強いことが分かった。 自分の調べたことをスピーチするために、まずは生徒が普段生活している菊池市について調べる。話の内容の順序を考えたり、構成を工夫したりするなど、相手に分かりやすいスピーチにするためにはどうしたらよいか、考えを深めていきたい。また、スピーチの後に助言やアドバイスをもらうことで、普段の社会生活の中で他人と会話するときには気を付けることができると考える。 | | | | |

3 指導に当たっての留意点（「校内研修の取組の視点」等から指導上の留意点等について明記）

【学校教育目標】

ふるさとを誇りに思い、一人ひとりが輝き、夢の実現に挑戦し続ける生徒の育成

【研究テーマ】生徒が主役として輝く学校づくり

【仮説について】

- 菊池市スタンダードの視点を取り入れ、「熊本の学び」を基にした授業づくりを行うならば、自ら学ぼうとする意欲を高め、基礎的・基本的な学力を身に付けることができるであろう。
- 生徒が達成感を感じるような取組を行うならば、自らの考えを発信しようとしたり、見通しを持って計画的に物事を進めようとしたりする力が身に付くであろう。

【人権教育の視点】

- 授業の流れを掲示することで見通しを持たせ、次の活動が分かるような授業づくりにつなげる。
- 支持的な雰囲気の中で発言と受言を大切に、生徒の思考を深めるために、生徒同士の対話を促し、互いに学び合うことにつなげる。
- この題材で働かせる ESD の視点（見方・考え方）
 - ・多様性…この地域には、昔から大切にされてきたもの、新しくできたものが混在している。
 - ・有限性…寺や神社など、しっかり調べ残しておかないと、いずれ無くなることもある。
 - ・責任性…未来に引き継ぎ、伝承するのは自分たちの使命でもある。
- この学習を通して育てたい ESD の資質・能力
 - ・コミュニケーション能力
自分が伝えたいことを、どのように伝えると分かりやすく、聞き手のことを考えて（配慮して）スピーチすることを心掛ける。
 - ・多面的・総合的に考える力
色々なスピーチを聞き、それについて自分の考えを深める。
- この学習を通して育てたい ESD の価値観
 - ・人権・文化を尊重する
スピーチに対して、決して否定的に捉えず、1つの考えた方として受け入れる。自分の住む地域について、新しく知ることができたことについては、素直に受け止める。また、さらに良いスピーチになるように、アドバイスや助言を行う。
- 達成が期待される SDG s
 - ・ 4 質の高い教育をみんなに
 - ・ 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - ・ 11 住み続けられるまちづくりを

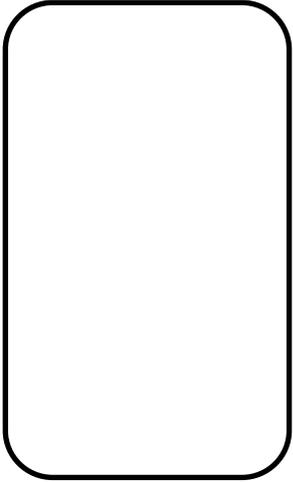
4 本時の学習

(1) 目標 地元菊池の自慢できるところ、良いなと感じるところについて、言葉にこだわり内容の構成や話し方について考えてスピーチし、聞き手により伝わるようにアドバイスし合い、考えを深める。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 (◇予想される生徒の発言) | 指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等) |
|----|-----|--|--|
| 導入 | 5分 | <p>1 学習の目標を確認する。</p> <p>①単元の導入時に活用した教科書教材の文例（p 116、p 117）を基に、話の中心を明確にして、構成を考えたスピーチになっているか確認する。 ◇相手に伝わるようにするには、この構成でいいだろうか。 ◇菊池の良いところが相手に伝わるように頑張るぞ。</p> | <p>○前時までの振り返りの内容を基に、事柄ごとに整理することで、相手にとって分かりやすい構成になることを実感した場面づくりを行う。</p> <p>○「菊池の自慢できるところ」「話の中心の明確化」「順序やナンバリング」など、スピーチする内容の構成が、相手にとって分かりやすいスピーチになっているか気付くようにする。</p> |
| | | <p>【めあて】自分の住む地域の自慢できるところをスピーチして、地域の方にアピールしよう。</p> | |
| | | <p>【学習課題】 相手に伝わりやすいスピーチにするためには、どんなところに気を付けたら良いだろうか。</p> | |
| 展開 | 30分 | <p>2 目標の達成に向けて行動する。</p> <p>①グループの代表がスピーチを行う。 ◇言葉の力を基にスピーチの練習ができたので、分かりやすく伝わるように頑張ろう。</p> <p>②スピーチを聞いて、構成の工夫が見られる点やアドバイスを付箋にまとめ応用紙に貼る。 ◇「良かったところ」「構成の工夫が見られたところ」「改善するところや質問」を分けて貼っていこう。</p> <p>③クラスの数人から質問やアドバイスを受け、考えを深める。 ◇みんな真剣に聞いてくれたから、スピーチして良かったな。付箋紙のアドバイスを参考に、これからの生活に生かそう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【期待される学びの姿】 アドバイスや質問などの対話を通し、相手に話の内容を分かりやすく伝えるため、話題の順序や構成の工夫等を行い、自分の伝えたい内容に合うスピーチの仕方を考えている。</p> <p>④スピーチを聞き、郷土愛をどれだけ感じたかを、手元の小道具で表す。 ◇笑顔でハートの評価してくれるのが嬉しいな。</p> <p>⑤生徒のスピーチを聞いた、地域の方からの感想、アドバイスをもらい、今後の生活に生かす。 ◇地域の大人の方にアドバイスしてもらって、さらに詳しく地域のことを調べたくなったり、地元について興味がわいてきたな。 ◇スピーチすることが少し楽しくなったな。</p> | <p>○スピーチの内容を確かめて、構成メモの準備をさせる。クラス全体で教科書p 116の言葉の力を確認し、スピーチしやすい雰囲気をつくる。</p> <p>○スピーチの後、それぞれが考えたことを付箋紙に書かせ応用紙に張らせる。その際前方に提示しているポイントを基に記入するよう机間指導する。</p> <p>○アドバイスする側の説明文例を示し、対話が円滑に進むようにする。</p> |
| | | <p>【具体的評価規準】観点</p> <p>○地域の自慢できるところ、魅力について伝えたいことを明確にし、聞き手を意識して、話す順序や構成を工夫してスピーチしている。 (方法：付箋紙・発言)</p> | |
| 終末 | 10分 | <p>3 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>①自分のスピーチを、タブレットで確認する。 ◇自分が伝えたいことを明確にし順序を考えて話すと、相手に伝わりやすいことが分かりました。 ◇言いたいことをだらだらと話すより、具体例を挙げたり説明を詳しく加えることで聞き取りやすくなることが分かった。</p> | <p>○友達の話のいいところを生かす。 ○スピーチだけでなく、普段の生活の中で相手を意識した話ができるよう、学習したことを生かそうとする態度につなげるようにする。 ○数名の生徒に振り返りを発表させ、目標に沿った振り返りについて積極的に認める。</p> |
| | | <p>【まとめ】 今回のスピーチだけでなく、社会生活の中で相手に伝わりやすい話をするためには、声の大きさやスピードは勿論、しっかり調べ構成を工夫し、話す順序を考え組み立てることが大事である。</p> | |

【板書計画】

| | | |
|--|--|---|
| <p>相手の分かりやすい話し方を考え伝えよう ～地域の自慢できるところについてスピーチしよう～ めあて</p> <p>○ 自分の住む地域の自慢できるところをスピーチして、 地域の方にアピールしよう。</p> <p>前時までの学習の流れ p115</p> |  | <p>言葉の力 p116</p> <p>スピーチの時に気を付けること</p> <p>○ 聞き手の方を見ながら、はっきりした発音と聞きやすい声の大きさで、ゆっくりと話す。</p> <p>○ 聞き手への問いかけを入れたり、話の区切りや強調したい言葉の前で間を取ったりするなど、話し方を工夫する。</p> <p>○ 聞き手の表情を見ながら話し、話が十分に伝わっていないと感じたときは言い換えたり、繰り返し述べたりする。</p> <p>まとめ</p> |
|--|--|---|

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

- 単元のゴールの姿は、全授業をとおり電子黒板に掲示する。
- スピーチの練習をする前に、教科書に記載されている「Dマーク」を読み取り、動画で声の大きさ、速度、間の取り方など、工夫する点を確認する。
- スピーチする際、イメージしやすいように写真を1、2枚提示する。

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

令和4年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語
スピーチする（「最近気になったこと」）